

く・る・るマッチレース・イン 葉山2009

Kururu Match Race in Hayama 2009

20-22 Mar., 2009

レース公示 (Ver.1.0)

1 主催団体等

本大会は日本ヨットマッチレース協会 (JYMA) と葉山港みなとまちづくり協議会が共同主催する。

また、本大会は以下の企業・団体の後援、協力の下に行われる。

[協力]ニッポン・セイル・トレーニング (NST)、葉山マリーナヨットクラブ (HMYC)、NPO法人葉山ヨットクラブ (HYC)、葉山ジュニアヨットクラブ (HJYC)

2 開催地

開催地は神奈川県葉山町である。レース本部は葉山港湾管理事務所内に設けられる。

3 イベント・グレーディング

本大会はISAFグレード4として申請している。このグレーディングはISAF Match Race Rankings Sub Committeeによる再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。また、本大会はJYMAイベントグレード係数1.5の大会である。

4 予定プログラム

4.1 毎日の予定

3月20日(金・祝) 準備・レース日(1日目)

08:00 レース本部オープン

08:05 - 09:00 受付/体重計測

09:00 - 09:40 艇長会議/最初のアンパイア・ブリーフィング

10:00 レース艇ドックアウト

10:30 最初のマッチの注意信号発令

17:00 - 17:40 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、翌日分の艇長会議

18:00 レース本部クローズ

3月21日(土) レース日(2日目)

07:30 レース本部オープン

07:35 - 08:00 交代クルーのための受付と体重測定 (3月20日の受付時間内に事前申告のあったチームに限る)

07:35 - 07:45 艇長会議

08:00 レース艇ドックアウト

08:30 最初のマッチの注意信号発令

17:00 - 17:40 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、翌日分の艇長会議

18:00 レース本部クローズ

18:30 - 20:30 レセプション

3月22日(日) レース日(最終日)/葉山みなとまつり2009-葉山く・る・る

07:30 レース本部オープン

07:35 - 08:00 交代クルーのための受付と体重測定 (3月20日の受付時間内に事前申告のあったチームに限る)

07:35 - 07:45 艇長会議

08:00 レース艇ドックアウト

08:30 最初のマッチの注意信号発令

14:00 - 15:30 表彰式(く・る・る まつりフィナーレにて表彰式)

15:30 - 17:00 片付け

17:10 レース本部解散

4.2 実行委員会により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

(a) スキッパーは毎日の艇長会議とアンパイア・ブリーフィング。

(b) スキッパーとクルーはレセプション。

(c) ファイナルに進んだスキッパーとクルーは、表彰式。

4.3 天候等の事情により4.1の日程で大会が開催できないと実行委員会が判断した場合、本大会は中止される。中止の告知は以下のように行う。

(a) 3月18日までに中止が決定された場合、参加スキッパー宛に個々に通知されるとともにJYMAホームページ上に中止の旨を告知する。

(b) 3月19日以降に中止が決定された場合、可能な通知手段により個々のスキッパーへ通知される。
5. スキッパーの参加資格 (a) 12名(b) のスキッパーが招待される。実行委員会により招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。招待基準は以下の通りである。 ・2009年2月1日時点のJYMAランキング上位6名・ のスキッパー。 ・招待依頼を提出したスキッパーの中から、実行委員会が招待する4名・ のスキッパー。 ・招待依頼を提出したスキッパーの中から、JYMA会長が推薦する2名・ のスキッパー。 (c) 登録されたスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。 (d) 参加資格を留保するために、スキッパーは招待の受け入れを書面 (eメールも可) によって、招待状に記載された期日までに実行委員会に対して確認返信をするとともに所定の参加料、ダメージ・デポジットを支払わなければならない。 (e) すべての競技者は、2009年度の有効なJYMA会員資格を取得していなければならない (ヴィジターを除く)。 (f) すべての競技者は、2008年度の有効なJSAF会員資格を取得していなければならない。 (g) すべてのスキッパーはISAFセイラーIDを取得し、参加受付時に提出するクルーリストにIDを記載しなければならない。ISAFセイラーIDはwww.sailing.org/isafsailor から無料でオンライン登録できる。 (h) 外国籍を有するスキッパー、クルーは有効なナショナル・オーソリティの資格を証明できれば(e)の要請は免除される。
6. 参加
6.1スキッパーは、参加料とダメージ・デポジットの支払を完了し、受付と体重計測をすることにより本大会に参加する。
6.2 参加料・レセプション費 参加料は1チーム80,000円である。レセプション費は1人3,000円である。 参加料およびレセプション費は、招待状に記載された期日までに指定の銀行口座に振込まなければならない。
6.3 ダメージ・デポジット (a) 最初のダメージ・デポジット30,000円は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額はスキッパーが負担しなければならない補償の最大額ではない。 (b) 実行委員会の決定によりダメージ・デポジットから差引が行われた場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、スキッパーはレースを続けることを許されないことがある。 (c) ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損(d) 害賠償については17項によるものとする。 (e) ダメージ・デポジットの残額があれば、少なくとも大会終了後3週間以内に返却される。
6.4 大会が中止された場合の参加料の取り扱い (a)3月18日までに大会が中止された場合、参加料は95%返却される。 (b)3月19日に大会が中止された場合、参加料は70%返却される。 (c)3月20日以降に大会が中止された場合、参加料は返却されない。 レセプション費は中止された場合、全額返済される。
7. ルール (a) 本大会はRRS2009-2012に定義されたルールによって行われる。これには本大会SIアペンディックスCも含まれる。 (b) SIアペンディックスC (ハンドリング・オブ・ボーツ)はすべての練習中にも適用される。クラス・ルールは適用しない。 (c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。
8. ボートとセイル (a) 本大会はヤマハ30 Sクラス艇で行われる。 (b) 6艇のボートが用意される。 (c) 以下のセイルが各艇に支給される。メインセイル、ジブ、スピネーカー。 (d) ボートはレース委員会の判断により日毎およびステージ毎に、抽選によって割り当てられる。
9. 乗員 (スキッパーを含む) (a) 乗員の人数制限は最大6名(b) である。(c)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくともいなければならない。 (c) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。

(d) 乗員の合計体重は350kg以内でなければならない。計測は最低限シャツとショーツを着用した状態で行われる。 (e) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会はオリジナル・クルーメンバーから交代を認めることができる。 (f) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。 (g) 満20歳に満たない未成年者が本大会に出場するときは、別紙書式による保護者の同(h) 意書を受付時に提出しなければならない。
10. イベント・フォーマット 参加スキッパーを2グループに分けたRRによる予選と、セミファイナル、ファイナルが予定されている。詳細は3月10日までに発表される。
11. コース (a) コースはスターボード回航の風上/風下で、ダウンウインド・フィニッシュである。 (b) コース海面は葉山マリーナの沖合いに設定される。
12. 広告 (a) ボートと装備が主催者によって提供されるので、ISAFレギュレーション20.3.2が適用される。各ボートは主催者によって支給される広告を表示することが求められることがある。 (b) 実行委員会は下記の装備を支給し、ISAFレギュレーション20.3.2が適用される。実行委員会によって支給された装備にはカテゴリーCの広告が表示されることがある。(未定) (c) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは実行委員会との個別交渉による。 (d) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1の変更)。
13. 賞 1位から3位までのスキッパーにはJYMA賞が贈られる。 実行委員会は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。 09年コリアン・マッチアジア予選への招待状がJYMAへ来た場合、JYMAは本大会の上位者より推薦するものとする。
14. メディア、映像および音響 実行委員会はTVクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。また実行委員会は大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。
15. 請求の否認 大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。実行委員会、その提携者および実行委員会より任命を受けた者は、違法行為および重大な過失による場合を除き、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。
16. 行動基準と大会運営の補助 16.1 行動基準と選手の義務 (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない、また大会の名(b) 誉を傷つけるような行動をしてはならない。 (c) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIアペンディックスCとDに従わなければならない。 (d) このSIに対する違反のペナルティは、PCの裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、ダメージ・デポジットの保留を含めることができる。 16.2 参加選手は可能な限り大会運営の補助をしなければならない。
17. ダメージの取り扱い基準 17.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージ・デポジットより差し引かれる。 (a) ウインチハンドル 15,000円/1本

(b)抗議旗 (Y旗) 5,000円/1本 (c)識別旗、B旗 損 (d)傷旗 :各3,000円/1枚 17.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は1艇につき480,000円である (エンジン関係のダメージがある場合はこの限りではない)。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある (ただし、480,000円が上限というわけではない)。 17.3 帆走指17.4 示書アペンディックスC (ハンドリング・オブ・ボーツ) に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。全額当事者の負担である。 17.5 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする (17.2も参照。金額はダメージ・デポジットから優先して差し引かれる)。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合実行委員会はPCのアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。 (a) 権利艇 非権利艇が特定できる場合 権利艇2 非権利艇8 (b) 権利艇 非権利艇が特定できない場合 当事者間で均等割りとする 17.6 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後30分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。 17.7 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不17.8 戦敗とする場合がある。
18. 招待 本大会には招待されたスキッパーのみが参加できる。招待を希望するスキッパーは、別紙のフォームに必要事項を記入し2月27日 (金)までに実行委員会に送付し、招待要請の登録を行ってください。
19. 問合せ 実行委員長 :伊藝徳雄 Eメール igei@matchrace.gr.jp
発行日 2009年2月14日 Version 1.0

インフォメーション

3月22日 (日) には会場である葉山新港で「葉山みなとまつり2009 葉山く・る・る」が同時開催されます。朝市 (バザール) などのイベントの他、NPO法人葉山ヨットクラブメンバーの協力で本マッチの観戦クルーズも企画されています。ご家族、友人にもお出でいただけるようお願いください。

く・る・る マッチ・イン・葉山 2009
Invitation Request Form
招待依頼申込書

2009年__月__日

大会実行委員会 御中

私は、本大会への招待を希望し、ここに依頼します。

Skipper スキッパー

Family Name 姓		First Name 名	
Age / Born Year 年齢 / 生年 (西暦)	/	ISAF Sailor ID ISAFセイラーID	
JYMAランキング (申込時点)		ISAFランキング (申込時点)	

Address 住所	
e-mail メールアドレス	
TEL Fax 電話・ファックス	
Team name チーム名称	
Yacht Club 所属	

提出先：伊藝徳雄

メールアドレス: igei100@attglobal.net

2009年2月27日までに上記メールアドレスまでに提出すること。

く・る・る マッチ・イン・葉山 2009 大会実行委員会
日本ヨットマッチレース協会 御中

マッチレース出場に関する保護者の同意書

2009年 月 日

保護者氏名：

印

私は、私の被保護者（氏名：_____）が下記大会に参加することに同意するとともに、以下の点につき、主催者、大会実行委員会ならびに日本ヨットマッチレース協会にお約束します。

大会名称：く・る・る マッチ・イン・葉山 2009

開催地：神奈川県葉山町

開催期間：2009年3月20日～3月22日

- 1、私の被保護者は自己の責任において本大会へ参加するものであり、私は被保護者の責任と義務を連帯して保証いたします。
- 2、私の被保護者が本大会への参加を継続するか、途中棄権するかは判断は被保護者と共同3、_____してその責を負い、これを大会実行委員会および日本ヨットマッチレース協会に帰すことはいたしません。
- 4、私の被保護者がとった行為によって発生した損5、_____害、損6、_____失は、本大会のレース公示および帆走指7、示書に従って、被保護者と連帯してその賠償責任を負います。
- 8、私の被保護者が被った損9、_____害、損10、_____失のうち、違法行為および重大な過失によるものを除いて、その賠償を大会実行委員会および日本ヨットマッチレース協会に対して請求することはいたしません。

以上